

月例研究会講演要旨

ロジスティクスの今後の展開について

流通経済大学流通情報学部
大学院物流情報学研究科教授
工学博士 矢野 裕児

日時	平成 28 年 1 月 18 日 (月) ----- 18 : 00 ~ 19 : 30
場所	日本技術士会会議室
	荳手第二ビル 5 階 ((フキデダイニビル) 東京 : 田中山ビルの隣)
演題	ロジスティクスの今後の展開について
講師	流通経済大学流通情報学部大学院物流情報学研究科 矢野 裕児 氏
	工学博士

内容

今後のロジスティクス展開をどのように考えるか、震災リスクへの対応、ネット販売オムニチャンネルへの対応、トラックドライバー不足問題、物流人材の育成の視点からお話しいただきました。

1. 「企業の競争力強化と豊かな生活を支える物流のあり方」2015年10月20日一般社団法人日本経済団体連合会の提言を紹介された。

詳細は、<http://www.keidanren.or.jp/policy/2015/093.html>

2. 「今後のロジスティクスを考える時の視点」について以下の項目を説明された。

- 1) リスクへの対応
- 2) ネット販売はロジスティクスを変える
- 3) トラックドライバー不足問題がロジスティクスを変える
- 4) 高度な物流人材の確保
- 5) オリンピックと物流

3. 「震災リスクにどのように対応するか」について以下の内容を説明された。

今後、発生が予想されている首都直下地震、東海地震、東南海・南海地震は、東日本大震災よりさらに甚大な影響をロジスティクス、サプライチェーンにも

たらず可能性が高い。

- 1) 今後、発生が予想されている大規模な地震に対応するためには、平常時とは全く違った有事対応の体制構築が必要。
 - 2) 物資の確保を考えた場合、公共による対応は限界があり民間による物資の調達、供給、備蓄がなければ成り立たない。
 - 3) 企業が連携・協力し、調達も含めた食品サプライチェーンの構築が必要。さらに、調達、生産、ロジスティクス、店舗等について具体的な対応事例を紹介された。
-
4. 「ネット販売がロジスティクスを変える」について、現状・課題をせつめいされた。
 5. 「トラックドライバー不足問題がロジスティクスを変える」について、現状・課題を説明された。

最後に、物流人材の育成について、アジア、中国などの事例を紹介された。

以上